

# 局所的にドライ化

製造ライン

大成建設  
神戸合成  
幅広く提案活動

大成建設と化学品メーカーの神戸合成（兵庫県小野市、宮岡督修社長）

は、原料が露出する部分だけ極低湿度を保つドライ空間にし、自動車向け

のコーティング剤を自動製造する装置を共同開発した。空間全体ではなく局所的にドライ化できるので、設備投資を抑えられる。自動化によって製造効率と品質の向上にもつながる。大成建設は、コーティング剤のほかにリチウムイオン電池などさまざまな製造ラインに適用できる技術として幅広く提案していく。

コーティング剤の製造は、原料となる薬品が空气中に含まれる水分と反応しないように作業スペースをクローブボックスで覆うことでドライ化

し、手作業で行う方法が一般的。そのため生産効率や品質面に限界があった。空間全体をドライ空間にすると多大な維持コストが必要だった。

そこで両社は、限られた空間をドライ化する技術を確立した。製造装置内部の圧力管理や装置構造の気密性向上のため独自の構築法を考案。さらに最適なドライ空間内での使用材質の選定、給排気場所の設定などを行い、装置内のドライ性能の保証を実現した。